

# 彩雲

S  
A  
I  
U  
N

【彩雲(さいうん)】とは、縁などが美しく色づいた雲を言います。日光が雲の水滴で回折するために生じるもので、昔からよいことの起こる吉兆の雲とされています。

VOL. **12** 【平成27年3月】

## 矢吹病院の基本理念・基本方針

### 基本理念

## 仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

### 七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

1. 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
2. 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
3. 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
4. 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
5. 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組みます。
6. 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
7. 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。



【写真】「患者作品」  
患者様のリハビリの一環として、また療養の糧及び地域に根ざした活動として、当院で製作した作品です。

## 5年目



病院長 横山 昇

私事ですが、この年末年始は昨年に続き京都で過ごしました。昨年果たせなかった「龍馬の墓」へのお参りが第一の目的です。震災復興どこ吹く風で政争に明け暮れる今の政界に、どうかもう一度戻って欲しいとお願いしたかったのです。元日の朝八坂神社に初詣した後、清水寺界限を抜けて護国神社に参拝し、境内脇の東山中腹にある龍馬の墓を訪れました。折しも大晦日からの大雪で、龍馬の墓の前からは白一色の京都市街を一望することができました。時を忘れて佇む私は、背後から「しっかりとしちょき(しっかりしろ)」と叱咤する龍馬の声が聞こえたような不思議な時空に身を置いていました。

さて、今年は阪神・淡路大震災(1.17)から20年の節目にあたります。年明け早々TVや新聞で様々な特集番組や記事が報道されていました。私も、震災孤児が結婚して新しい家庭を築くドキュメントに感動したり、「震災の記憶はありません」とインタビューに答える新成人の無邪気さに驚いたり忙しい毎日でした。そして東日本大震災(3.11)と原発事故から5年目に入った今、兵庫と対比させながら福島県の震災後20年目を考えています。人口は？産業は？そして県民の身体と心の健康は？私の頭ではいくら考えても何も浮かばず、『少なくとも今よりは良くなっているはず』と呟くのが精一杯で、これでは龍馬にまた活を入れられてしまいそうです。

5年目を迎え、ここまでずっと辛抱してきた避難者の方々のご苦労はいかばかりかと改めて思いやられます。しかしここ最近、その避難者の方々を支援してきた人々が心配です。特に被災自治体職員の慢性的な疲弊が問題で、うつ病の発症や自殺者の発生が無視できないほど増加しています。また、早期退職者が後を絶たないため残された職員への負担増も著しく、言わば悪循環に陥っている自治体もあるそうです。「支援者への支援」を真剣に考えるべき時が来ているのかもしれない。

# 福島県立矢吹病院

## ● シンポジウム「子どもたちのころと病い」～プレ創立60周年事業～

当院が児童思春期外来を開設したのは、震災後の平成23年の8月です。当院のある県南地方には、児童、思春期の子どもたちを対象とする専門の精神科外来がなかったこともあり、開設以来、受診者の数は増加し、現在では受診までお待たせすることになり、ご迷惑をおかけしている状況です。

当院は今年の11月に創立60周年を迎えます。

今回、プレ創立60周年の事業として、児童思春期外来開設も記念するとともに、多くの人達に子どもたちのころの問題に関心を持っていただくため、「子どもたちの心に目をむけましょう」とのサブタイトルのもとシンポジウムを開催いたしました。

当日は、朝から雨で聴衆の皆さんの出足を心配しましたが、約80名の方にご来場いただきました。

シンポジウムは、福島大学大学院の内山教授の基調講演に引き続き、福島県発達障がい者センター所長の増子先生、当院で月に1回の診療をさせていただいている井上先生、当院の金澤科長、教育の現場からは矢吹小学校の古市校長先生に登壇いただき、それぞれから講演を受け、短時間となってしまいましたが、最後に意見をいただきました。

今年は10月24日(土)には60周年記念行事、そして翌日25日(日)には矢吹病院祭を行う予定です。皆様のお越しをお待ちしております。



## 医療相談室のお知らせ

病気になると様々な心配がおきてくるものです。

医療相談室では患者様やご家族の悩みや不安の軽減、解決のお手伝いを精神保健の専門職である精神保健福祉士が対応させていただきます。

**相談内容:** 医療費や生活費などの経済的なこと・退院後の生活について・様々な制度や福祉サービスについて  
その他困りごと など

**相談時間:** 平日のみ 8:30~12:00 13:00~17:15

予約制ではありませんが相談を希望される方は事前にご連絡ください。

医療相談室は昭和42年に相談窓口を開設し、現在、正規職員3名、臨時職員1名の精神保健福祉士が勤務しています。上記の相談業務以外に院内家族会の事務局も行っております。

## 家族相談会のお知らせ ~ご家族だけで悩んでいませんか?~

当院に通院・入院されている患者様のご家族を対象に「家族相談会」を開催しております。

心配や不安などの気持ちの混乱はご家族として当然の反応です。正しい情報を共有し、不安や悩みを分かち合い、困ったときの対処法についてアイデアを出し合うことで、ご家族自身が元気とゆとりを回復させていくことを目的としています。

ご家族自身が元気とゆとりを回復させることは、患者様ご本人の症状の安定や回復にも役立ちます。ご家族と患者様ご本人が共に元気に過ごせるよう、皆様のお力になりたいと思っています。

是非、一度足を運んでみてください! スタッフ一同お待ちしております。

《日 程》 毎月第4土曜日 13:00~16:00

《場 所》 矢吹病院会議室 (本館2階)

《内 容》 受付 13:00~13:15

情報提供の時間 13:15~14:00 (病気や薬、ご本人との関わり方などテキストに沿って情報提供)

話し合いの時間 14:00~ (途中休憩あり) (日常生活で困っていることなどを、スタッフも一緒に考え、みんなで相談し話し合い、自分に役立つアイデアをお持ち帰りいただきます)

終了 16:00

《参加費》 初回参加時、お一人1,000円 (テキスト代・お茶代として)

参加ご希望の方は、病院スタッフへお気軽にお声掛けください。ご案内いたします。



## 第2回福島県立矢吹病院まつり

10月19日に病院まつりを開催しました。

当日は秋晴れの天候にも恵まれ、出演者の他に町内住民やOBの方々など来場者全体で昨年の3倍以上にあたる300名を超える参加を頂き、成功裏に無事終えることができました。

昨年の第1回と異なる点は、まつりの目的に挙げた(1)地域に根ざした病院づくり、(2)精神医療の啓発啓蒙に合わせ、①町内6団体に出演の協力を頂いたこと、②入院患者さんの参加を開放したことです。また正面玄関前に留まらず、管理棟にもブースを広げ多くの方々に病院の中まで足を運んで頂き、特にお子さんを対象にした企画では、白衣を着て写真を撮る医師・看護師体験など新しい試みをしました。さらに町内の各団体による出し物では、演奏やダンス・踊りなどとても賑やかで大変盛り上がり、感動すら覚えました。

来場者には「来年もぜひ」と喜ばれ、患者さんからも温かい言葉を頂き、お子さん方にも好評を得たと実感しております。

今年も楽しめる企画をいたしますので、またご来場いただければ幸いです。



### 訪問看護だより

from  
Home Visit Nursing Center

こんにちは。訪問看護室です。

平成8年より訪問看護がスタートし、19年目となりました。日々、利用者様の所へ長年供にしている訪問車で伺っております。

訪問看護は毎月約200件近く伺わせていただいております。病院を退院後、または外来通院をされている方が安心して日常生活を送ることができるよう、「看護師」「精神保健福祉士」「作業療法士」など専門スタッフが、ご相談に応じたり必要な支援など行っています。

次のような悩み・不安などご相談下さい。

- ・治療についてよくわからない。薬を飲むのが不安だ。
- ・身の回りの事や、家事ができない。
- ・人とうまく話す事や、付き合うことができない。
- ・ご家族の方がご本人に、どのように対応したらよいのかわからない。 など

訪問看護の利用を希望される際は、主治医・病院スタッフにご相談ください。



長年訪問でお世話になった車です。  
6月上旬まで使用予定です。  
～今までありがとう～



### 栄養管理だより

from  
Nutrition Support Service

#### おいしい病院食レシピ ～さわらの香味焼き～

魚には筋肉や皮膚などを作るために必要な栄養素であるタンパク質や、体の調子を整えるビタミンやミネラルを豊富に含んでいます。また、魚に含まれる脂質は体内のコレステロールを下げる働きがあります。魚という調理が面倒であり食べないという方も多いと思いますが、今回はそんな方でも簡単に魚を調理できるレシピを紹介します。

##### 【材料 2人分】

- ・さわら (1切れ70g程度のもの) 2切れ
- ・酒 小さじ2
- ・しょうゆ 小さじ1
- ・しその葉 3枚
- ・植物油 少々

##### 【作り方】

- ①しその葉はみじん切りにする
- ②酒・しょうゆ・みじん切りにしたしその葉を混ぜ合わせ、さわらを漬け込む
- ③フライパンに薄く油をひいて両面をこんがり焼く

##### 【ポイント】

今回はさわらを使用しましたが、ほかの種類の魚でも作ることができます。また白ごまやすりおろした生姜などを加えてもまたちがった味わいになります。食べるときにレモンを絞ってもおいしいですよ。

##### 【一人分の栄養価】

エネルギー138Kcal、タンパク質14.4g、脂質7.8g、塩分0.5g



しそなどの香味野菜を使うことで魚の生臭さが和らぎ、魚が苦手な方でも食べやすくなります。また、少量のしょうゆでも香味野菜の香りが加わることによって味気無さが薄れるので、減塩につながります。

科別	氏名	職名	専門分野
精神科	横山 昇	病院長	精神科一般
	佐藤 浩司	副院長	精神科一般
	山田 康人	科部長	精神科一般
	金澤 壮一	科長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	石川 大道	科長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	小林 秀孝	医長	精神科一般
	遠藤 裕美	医員	精神科一般
内科	宗像 修	副院長	消化器内科

外来診療のご案内

●外来受付・診療時間

診療科	受付時間		診療時間	
	午前診療分	午後診療分	午前診療分	午後診療分
精神科一般 内科	8:30~11:00	13:00~15:00	9:00~11:30	13:00~15:30
児童思春期 外来	全て予約制		9:00~11:30 (水曜日・金曜日) (第3土曜日) <small>※水曜日・金曜日は月各1回の診療</small>	13:00~16:30 (火曜日・木曜日) (水曜日・金曜日、第3土曜日の一部)

●診療日

- 精神科一般及び内科 ~月曜日から金曜日(祝日を除く。)
- 児童思春期外来 ~水曜日・金曜日(月各1回)(県立医大派遣医師)  
火曜日・木曜日(当院常勤医師)  
第3土曜日(応援医師)  
(※休診や診療日変更の場合がありますので、予約の際にご確認をお願いします。)

●予約診療について

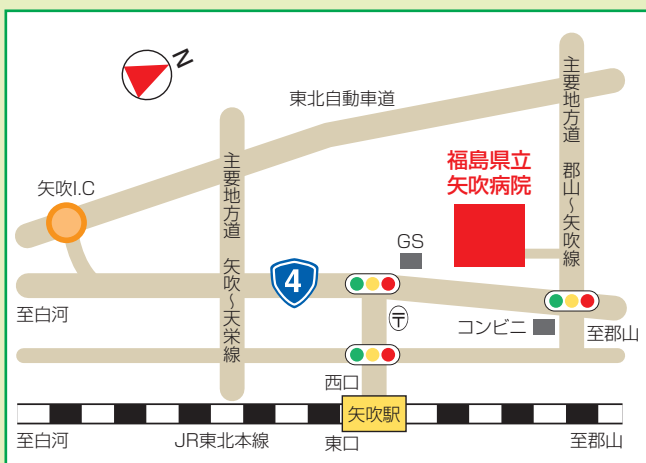
- ☆ 精神科一般 新患 ~予約の受付を行っています。  
※新患の診察は、月曜日から金曜日まで行っています。
- ☆ 精神科一般 再診 ~予約の受付を行っています。
- ☆ 児童思春期外来 ~全て予約が必要です。

【予約受付時間】 8:30~12:00 13:00~17:00(月曜日から金曜日)

※担当医の診察日については、当院のホームページをご覧ください。  
代診・休診についても、ホームページでお知らせしております。

交通のご案内

- JR矢吹駅より徒歩20分。JR矢吹駅(西口)と当院を結ぶ送迎バスも運行しております。



<送迎バス時刻表>

迎え	JR矢吹駅 → 矢吹病院
1便	8:10発
2便	8:45発
3便	9:45発
送り	矢吹病院 → JR矢吹駅
1便	9:25発
2便	10:50発
3便	11:20発
4便	14:30発
5便	15:25発

※病院正面玄関前からご乗車できます。

発行 ● 福島県立矢吹病院

〒969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100 TEL0248-42-3111 FAX0248-44-2551

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a>